

Cisco Aironet 4800 アクセス ポイント

汎用性の高い Cisco Aironet™ 4800 Wi-Fi アクセス ポイントは、アクセス ポイント機能に関して業界最高レベルの機能性を誇ります。

製品概要



Cisco Aironet 4800 アクセス ポイントは、優れたエクスペリエンス、最高のセキュリティ、および高速接続を実現する豊富な機能を備えています。Aironet® 4800 は、トラブルシューティングを容易にし、Cisco DNA™ Assurance に示されるコンテキストを拡張します。

アクセス ポイントの機能は 4 つの内部無線を対象とするため、これらの機能をネットワークで同時に実行できます。Aironet 4800 は現在の Aironet ポートフォリオの豊富な機能(組み込みのフレキシブル ラジオ アサインメント、Hyperlocation、Bluetooth Low Energy (BLE)などの機能)を拡大し、4 番目の内部無線を追加して、優れたパフォーマンスとロケーションやセキュリティの分析機能を提供します。アクセス ポイントに追加で組み込まれた無線を使って、ワイヤレス ネットワークはパフォーマンスを損なうことなくセキュリティとデータ分析を強化できます。もうネットワークのパフォーマンスのためにセキュリティを犠牲にする必要はありません。

解説

最初に、4 番目の無線を利用して、BLE およびセキュリティ モニタリング機能を独自の無線で実行することができ、他の 2 つの無線は並外れた Wi-Fi を提供する傾向があります。このレベルの可視性によって IT はさらに強力な機能を活用し、生産性とエンゲージメントを向上させるユーザ エクスペリエンスを実現できます。

機能と利点

機能	利点
802.11ac Wave 2 のサポート	理論値では、無線ごとに最大 2.6 Gbps の接続レートを実現します。これは現在のハイエンドな 802.11ac アクセス ポイントのおよそ 2 倍になります。
高密度エクスペリエンス	高クライアント密度のデバイスに対して、高いパフォーマンス カバレッジを提供するクラス最高レベルの RF アーキテクチャです。エンド ユーザにシームレスなワイヤレス エクスペリエンスを提供します。802.11ac Wave 2 無線のカスタム ハードウェア、Cisco CleanAir®、Cisco® ClientLink 4.0、および最適化されたクライアントのローミング エクスペリエンスなどの機能があります。
マルチユーザ MIMO (MU-MIMO)テクノロジー	MU-MIMO では 3 つの空間ストリームをサポートしているため、アクセス ポイントはクライアント デバイス間で空間ストリームを分割できるようになり、スループットを最大化できます。

機能	利点
マルチギガビット イーサネットのサポート	100 Mbps および 1 Gbps に加え、2.5 Gbps および 5 Gbps のアップリンク速度を実現します。業界で初めて、すべての速度を 10GBASE-T (IEEE 802.3bz) 配線だけでなくカテゴリ 5e 配線でもサポートします。
Intelligent Capture	Intelligent Capture はネットワークを調査して、Cisco DNA Center™ に詳細な分析を提供します。このソフトウェアは、240 を超える異常を追跡し、すべてのパケットをオンデマンドですぐに確認できるため、オンサイトのネットワーク管理者のような役割を果たします。管理者は、このデータを利用してワイヤレス ネットワークに関する情報に基づいた意思決定を行うことができます。このソフトウェアは基本的にすべてのパケットを瞬時に「検知」し、そのすべての情報を Cisco DNA Center に戻して詳細な分析を行うことができます。
フレキシブル ラジオアサインメント	RF 環境に基づいて、無線を提供する際の動作モードをアクセス ポイントでインテリジェントに決定できるようにします。アクセス ポイントは、次のモードで動作できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 2.4 GHz および 5 GHz モード: 一方は 2.4 GHz モード、もう一方は 5 GHz モードでクライアントに無線を提供します。 ● デュアル 5 GHz モード: 無線は両方とも 5 GHz の帯域で動作します。802.11ac Wave 2 のメリットを最大限に引き出し、クライアント デバイスのキャパシティが増加します。 ● Cisco DNA Assurance ネットワーク センサー: プロアクティブなネットワークモニタリングを行い、ネットワークの問題をユーザが気づく前の段階で検出します。
Hyperlocation	Wi-Fi および BLE 技術が結合された超精密なロケーション ソリューションで、ビーコン、インベントリ、および個人のモバイル デバイスを特定します。
24 時間 365 日の総合的なセキュリティ モニタリング	専用のセキュリティ モニタリング: 2.4 GHz と 5 GHz の両方をスキャンし、それらがネットワークに参加しているときに Cisco CleanAir の非 Wi-Fi 干渉、セキュリティに対する脅威、および不正なデバイスを検出する専用無線としてセキュリティ無線を使用します。
Bluetooth Low Energy (BLE)	モバイル デバイスのロケーション サービスを拡張するプロキシミティ技術。
4 つの無線	Wi-Fi 無線は両方とも 5 GHz モードでクライアントに提供できるため、クライアントのキャパシティを増加させながら、業界トップクラスの 5.2 Gbps (2 X 2.6 Gbps) の無線速度を実現します。
160 MHz チャネルのサポート	最大 160 MHz 幅のチャネルをサポートする動的帯域幅選択により、RF チャネルの状態に応じて、20、40、80、および 160 MHz チャネル間でアクセスポイントの動的な切り替えが可能になります。これにより、業界で最もパフォーマンスに優れたワイヤレス ネットワークを実現できます。
ゼロインパクト Application Visibility and Control	専用のハードウェア アクセラレーションを使用して、Cisco Application Visibility and Control などの回線速度を制御するためのアプリケーションのパフォーマンスを向上させます。
Cisco ClientLink 4.0	Cisco ClientLink 4.0 テクノロジーにより、空間ストリーム数が 1、2、3 の 802.11a/b/g/n/ac デバイスを含め、あらゆるモバイル デバイスへのダウンリンク パフォーマンスが向上し、スマートフォンやタブレットなどのモバイル デバイスのバッテリー駆動時間も長くなります。
Cisco CleanAir 160 MHz	Cisco CleanAir テクノロジーが 160 Mhz まで拡張されたため、20、40、80、160 MHz 幅のすべてのチャネルに予防的な高速スペクトル インテリジェンスを適用できます。これにより、無線干渉に起因するパフォーマンス問題に効果的に対処できます。
アクセス ポイント間のノイズ除去	アクセス ポイント間で RF の状態をリアルタイムかつインテリジェントに連携させることで、最適化された信号品質とパフォーマンスでの接続をユーザに提供するシスコの革新機能です。
最適化されたアクセス ポイント ローミング	カバレッジ エリア内でデータレートが最速のアクセス ポイントにクライアント デバイスがアソシエートします。
自動リンク アグリゲーション (LAG) のサポート	802.3ad (Link Aggregation Control Protocol (LACP)) に準拠し、両方のイーサネット インターフェイスで自動的に LAG を有効にできるため、アクセス ポイントへの全体的なスループットが向上します。
Cisco Mobility Express	Cisco Mobility Express ソリューションを使ったフレキシブル導入モードは、高密度環境に最適で、最大 100 個のアクセス ポイントをサポートできます。簡単なセットアップにより、物理コントローラなしで Aironet 4800 をネットワークに導入することができます。
Apple 機能	Apple 社とシスコは相互連携し、シスコのテクノロジーをベースとするソリューションを開発し、社内ネットワーク上での iOS モバイル エクスペリエンスを最適化しました。iOS 10 の新機能と、シスコの最新ソフトウェアやハードウェアを組み合わせることで、ネットワーク インフラをさらに効果的に活用し、すべてのビジネス アプリケーションでユーザ エクスペリエンスを向上できるようになりました。 コラボレーションの中心にあるのが Cisco WLAN および Apple デバイス間の独自のハンドシェイクです。このハンドシェイクにより、Cisco WLAN は最適な Wi-Fi ローミング エクスペリエンスを Apple デバイスに提供することができます。さらに、Cisco WLAN は Apple デバイスを信頼し、Apple デバイスで指定されたビジネスに不可欠なアプリケーションを優先的に処理します。

お客様向け出荷開始 (FCS) の後。

新しい Aironet 4800 の機能には、競合他社に大きく差をつける機能が含まれています。拡張された問題検出と根本原因分析をオンデマンドのリアルタイムトラブルシューティングに提供する組み込みの Intelligent Capture から、パケット キャプチャによるインサービスのアクセス ポイント モニタリングまで、Aironet 4800 はネットワークを独自の方法で保護します。その証拠として、Intelligent Capture は、クライアント ロケーション トラッキング および クライアント オンボーディング では競合他社の 2 ~ 3 倍、クライアント RF 統計については 3 ~ 5 倍の速さで処理します。

Hyperlocation に統合されている無線によって、3メートルから5メートルのデバイスのモニタリングとトラッキングが可能になり、きめ細かなデータを得ることができます。このように抜群の精度を誇るため、オフィスからいつの間にか姿を消した機器に別れを告げることができます。その方法としては、Hyperlocation で、アセット ロケーションの履歴モニタリングを行います。タグの付いたデバイスが消えた場合、過去に遡り、そのデバイスがエリアから消えた時点を特定できます。

また、従業員やゲストはアプリ対応の屋内道案内やナビゲーション機能を使って建物内の道順を確認できます。これらの機能により、モバイル クライアントは、屋内道案内のために自身のロケーションを取得できます。さらに、Point Of Information (POI)を提供し、ユーザが存在することを検出するアプリを作成できます。

Hyperlocation のもう1つの優れた機能はロケーション分析です。ネットワークに接続されているどのデバイスについても、デバイスに関する情報、滞在時間、パス分析などを得ることができます。このデータを Operation Insights と組み合わせると、Always-On(常時使用可能なユーザ エクスペリエンス)を維持しながらよりの確なビジネス上の意思決定を行うことができます。たとえば、オフィスのある部分が特定の時間帯に使用されていないことを確認し、この情報を生かして確実に消灯することができます。これによりエネルギーの使用量とコストを削減できます。

Hyperlocation 機能が Aironet 4800 に組み込まれる前は、Cisco 802.11ac Wave 2 アクセス ポイントでこの機能は利用できませんでした。

セキュリティ専用無線を搭載した Aironet 4800 は、24 時間 365 日、ネットワークへのアクセスを試みる不正エージェントを阻止する役割を果たします。この専用無線は、ワイヤレス ネットワークを常時モニタして、脅威の原因となる可能性があるあらゆるものを見つけ出します。また、3メートルから5メートルにある問題の原因を特定する機能があるため、大きな問題に発展する前に問題を見つけ出すことができるという安心感を得ることができます。Aironet 4800 はネットワークを保護すると同時に、問題や脅威を予測し、それらに迅速に対応します。

また Aironet 4800 ではリアルタイムのトラブルシューティングも可能です。これは、アクセス ポイントの4つの無線のいずれかを使用してライブトラフィックをスニффingおよび復号化して行います。同様に、デバイスでは MU-MIMO、データレート、チャンネル使用率などの重要な無線統計をライブでモニタリングできるため、ワイヤレス セキュリティに対するさまざまな種類の脅威をすばやく検出できます。これらの機能を受信信号強度表示(RSSI)、パケット再試行などの重要なアセットのモニタリングと併用すると、Aironet 4800 アクセス ポイントがネットワークの状態をいかに重視しているかわかります。

Aironet 4800 は、ネットワークを単に保護するだけではありません。問題を検出し、クライアントのパフォーマンスが低下している原因も見つけ出します。ローミングの問題を解決し、「sticky client」などクライアントのパフォーマンスが低下している根本原因を見つけ出すために、クライアント スキャンを使って無線に関連付けられる前後の動作をトラッキングします。

Aironet 4800 を Cisco DNA Center(Assurance)と連携させると、多数の機能がネットワークで利用できるようになります。たとえば、問題が検出されると、ネットワーク管理者はその時点(7日前まで)に戻り、問題の根本原因を調査できます。そこから、問題を修正するための推奨措置が示されます。

802.11ac Wave 2 以上に対応

Aironet 4800 を利用すれば、802.11ac のスピードと機能を新世代のスマートフォン、タブレット、高性能ラップトップでも活用でき、優れたエンドユーザ エクスペリエンスを実現できます。計画している内容が現在のワイヤレス ネットワークに対する大規模な変更であっても、レガシー Wi-Fi の導入環境(802.11a/b/g/n/ac Wave 1 の導入)のアップグレードであっても、Aironet 4800 は対応できます。

Aironet 4800 は 802.11ac Wave 2 をサポートしており、理論上の接続レートは最大 5.2 Gbps です。これは、現在のハイエンド 802.11ac アクセス ポイントの約 4 倍に相当します。この高速化により、常に複数の Wi-Fi デバイスを使用するモバイル ワーカーが求めるパフォーマンスや帯域幅に先手を打って対応することができます。ユーザがワイヤレス LAN に課すトラフィックの負荷も比例して大きくなっており、企業の標準アクセス ネットワークであるイーサネットを凌ぐ勢いで拡大しています。

Cisco DNA サポート

Aironet 4800 アクセス ポイントを Cisco Digital Network Architecture™ (Cisco DNA) と組み合わせると、総合的なネットワークの変換が可能です。Cisco DNA では、リアルタイム分析によりネットワークを十分に理解し、セキュリティに対する脅威をすばやく検出して封じ込め、自動化と仮想化によりネットワーク全体の一貫性を容易に実現できます。ネットワーク機能をハードウェアから分離して、有線/無線ネットワーク全体を 1 つのユーザ インターフェイスから構築し、運用することができます。

Aironet 4800 と Cisco DNA の連携によって、次の機能を利用できます。

- フレキシブル ラジオ アサインメント
- Cisco Connected Mobile Experiences
- Cisco High Density Experience
- Fast Lane
- Cisco Identity Services Engine
- その他さまざまな機能

その結果、ネットワークは関係性を維持し、デジタル対応になり、組織で大いに活用されます。

高密度エクスペリエンス

Aironet の優れた RF 性能を継承した Cisco Aironet 4800 アクセス ポイントには、クラス最高レベルの RF アーキテクチャを備えた特定用途向けの革新的なチップセットが採用されています。このチップセットは、企業のミッション クリティカルな高性能アプリケーション向けに設計されたネットワークに対応する高密度エクスペリエンスを提供します。Aironet 4800 はシスコの主力製品ポートフォリオを構成する 802.11ac 対応アクセス ポイントであり、堅牢なモバイル エクスペリエンスを提供します。また、3 空間ストリームをサポートする 802.11ac Wave 2 の 4 X 4 MU-MIMO テクノロジーを採用しています。MU-MIMO によって、アクセス ポイントはクライアント デバイス間で空間ストリームを分割できるようになるため、スループットを最大化することができます。

各アクセス ポイントに組み込まれている 4 つの無線により、Aironet 4800 は、現在市場に出回っている他のアクセス ポイントよりも汎用的に使用できます。これらの 4 つの無線のうち 2 つはフレキシブル ラジオ アサインメント機能を備えています。つまり、環境に合わせてアクセス ポイントが自動的に自己最適化を行います。たとえば、一方の無線では 5 GHz チャンネルで信号を送信し、他方の無線では 2.4 GHz の信号を送信します。このアクセス ポイントはワイヤレス環境を認識し、2.4 GHz の信号を自動的に 5 GHz の信号に切り替えて、ユーザによる Wi-Fi 利用時の信頼性を高めます。この設定は、逆方向の切り替えについても自動的に機能します。このアクセス ポイントは RF 環境が元の状態に変化するのを認識し、設定を元に戻すことができます。

また、Aironet 4800 は、ワイヤレス環境に基づいて無線の設定を動的に変更します。

- **最適化されたアクセス ポイント ローミング**は、そのカバレッジ エリアで最速のデータ レートを提供するアクセス ポイントにクライアント デバイスをアソシエートさせます。
- **Cisco ClientLink 4.0** は、空間ストリーム数が 1、2、3 の 802.11a/b/g/n/ac デバイスを含め、あらゆるモバイル デバイスへのダウンリンク パフォーマンスを向上させます。また同時にモバイル デバイスのバッテリー持続時間を向上させます。
- **Cisco CleanAir** は、160 MHz チャンネルのサポートによって強化されています。CleanAir は 20、40、80、および 160 MHz 幅のチャンネルで高速なスペクトル インテリジェンスを提供し、ワイヤレス干渉に起因するパフォーマンスの問題を予防します。

- **MIMO イコライゼーション**は、信号のフェージングの影響を抑えることで、アップリンクのパフォーマンスと信頼性を最適化します。
- **Apple ローミング機能**には、802.11r Fast Transition、802.11v BSS 移行、経路ローミングなどがあり、Cisco WLAN は Apple デバイスに最適な Wi-Fi ローミング エクスペリエンスを提供できます。

製品仕様

項目	仕様
部品番号	<p>Cisco Aironet 4800 アクセス ポイント: 屋内環境向け(内部アンテナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AIR-AP4800-x-K9: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/b/g/n/ac ● AIR-AP4800-x-K9C: デュアルバンド/コントローラ対応 802.11a/b/g/n/ac、構成可能 <p>内部アンテナ Aironet 4800 向け Cisco Smart Net Total Care[®] サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CON-SNT-AIRPIBK9: SNTC-8X5XNBD 802.11ac Ctrlr AP 4x(期間: 12 ヶ月) <p>規制ドメイン: (x = 規制ドメイン)</p> <p>お客様の国における使用認可をご確認ください。認可状況および特定の国に対応する規制ドメインを確認するには、https://www.cisco.com/go/aironet/compliance [英語] を参照してください。</p> <p>すべての規制ドメインで使用が認可されているわけではありません。使用が認可され次第、グローバル価格表に製品番号が記載されます。</p> <p>Cisco Smart Net Total Care サービス: https://www.cisco.com/go/sntc</p> <p>Cisco Wireless LAN サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AS-WLAN-CNSLT: Cisco Wireless LAN Network Planning and Design Service [英語] ● AS-WLAN-CNSLT: Cisco Wireless LAN 802.11n Migration Service ● AS-WLAN-CNSLT: Cisco Wireless LAN Performance and Security Assessment Service
ソフトウェアおよびサポートされるワイヤレス LAN コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> ● Cisco Unified Wireless Network ソフトウェア リリース 8.7 以降 ● Cisco 3500 シリーズ ワイヤレス コントローラ、5520 シリーズ ワイヤレス コントローラ、8540 シリーズ ワイヤレス コントローラ、および Virtual Wireless Controller ● Cisco IOS[®] XE ソフトウェア リリース 16.9 ● Cisco Catalyst[®] 3850 シリーズ 3650 シリーズ スイッチ
802.11n バージョン 2.0 および関連機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 空間ストリームの 4 X 4 MIMO ● 最大比合成 (MRC) ● 802.11n および 802.11a/g ビームフォーミング ● 20 MHz および 40 MHz チャンネル ● 最大 450 Mbps の PHY データレート (5 GHz 帯で 40 MHz) ● パケット集約: A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Tx/Rx) ● 802.11 Dynamic Frequency Selection (DFS) ● Cyclic Shift Diversity (CSD) サポート
802.11ac Wave 1 機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 空間ストリームの 4 X 4 MIMO ● MRC ● 802.11ac ビームフォーミング ● 20、40、80 MHz チャンネル ● 最大 1.3 Gbps の PHY データレート (5 GHz 内の 80 MHz) ● パケット集約: A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Tx/Rx) ● 802.11 DFS ● CSD のサポート
802.11ac Wave 2 機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 空間ストリームの 4 X 4 MU-MIMO ● MRC ● 802.11ac ビームフォーミング ● 20、40、80、160 MHz チャンネル ● 最大 5.2 Gbps の PHY データレート ● パケット集約: A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Tx/Rx) ● 802.11 DFS ● CSD のサポート
Wi-Fi Alliance 認定	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi 認証 a、b、g、n、ac ● Wi-Fi Vantage ● Wi-Fi マルチメディア (WMM) ● Passpoint

項目	仕様	
内蔵アンテナ	フレキシブル ラジオ(2.4 GHz または 5 GHz) <ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz、ゲイン 2.5 dBi、内部アンテナ、全水平方向 5 GHz、ゲイン 5 dBi、内部方向アンテナ、垂直面ビーム幅 90° 専用 5 GHz 無線 <ul style="list-style-type: none"> 5 GHz、ゲイン 3.5 dBi、内部アンテナ、全水平方向 3 番目の専用無線 <ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz および 5 GHz 対応 Hyperlocation アンテナ アレイ BLE 無線 <ul style="list-style-type: none"> 2.4 GHz、ゲイン 2.5 dBi、内部アンテナ、全水平方向 	
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> イーサネット ポート X 2 100/1000/2500/5000 マルチギガビット イーサネット(RJ-45) - IEEE 802.3bz <ul style="list-style-type: none"> カテゴリ 5e ケーブル配線 高品質 10GBASE-T(カテゴリ 6/6a)ケーブル配線 100/1000BASE-T 自動検知(RJ-45 - 補助ポート) 管理コンソール ポート(RJ-45) 	
インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> ステータス LED はブートローダ ステータス、アソシエーション ステータス、動作ステータス、ブートローダ警告、ブートローダエラーを表示 	
寸法(幅 X 奥行 X 高さ)	<ul style="list-style-type: none"> アクセス ポイント(取り付けブラケットを除く): 22 X 25 X 7.35 cm(8.68 X 9.9 X 2.9 インチ) 	
重量	<ul style="list-style-type: none"> 2.5 kg(5.6 ポンド) 	
入力電力要件	<ul style="list-style-type: none"> 802.3at PoE+、Cisco Universal Power over Ethernet(Cisco UPOE®) 802.3at パワー インジェクタ(AIR-PWRINJ6=) 50 W の電源(AIR-PWR-50=) 	
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> マルチギガビット、補助イーサネット、USB サポートを除くすべての機能を有効にした電源装置(PSE)で 30W すべての機能を有効にした PSE で 31W 	
環境	<ul style="list-style-type: none"> 非動作(保管)温度: -30 ~ 70 °C(-22 ~ 158 °F) 非動作(保管)時の高度テスト: 25 °C、4,572 m(15,000 フィート) 動作温度: 0 ~ 40 °C(32 ~ 104 °F) 動作湿度: 10 ~ 90 %(結露しないこと) 動作高度テスト: 40 °C、3,000 m(9,843 フィート)(結露しないこと) 	
システム メモリ	<ul style="list-style-type: none"> 1024 MB DRAM 256 MB フラッシュ メモリ 	
利用可能な送信出力設定	2.4 GHz <ul style="list-style-type: none"> 23 dBm(200 mW) 20 dBm(100 mW) 17 dBm(50 mW) 14 dBm(25 mW) 11 dBm(12.5 mW) 8 dBm(6.25 mW) 5 dBm(3.13 mW) 2 dBm(1.56 mW) 	5 GHz <ul style="list-style-type: none"> 23 dBm(200 mW) 20 dBm(100 mW) 17 dBm(50 mW) 14 dBm(25 mW) 11 dBm(12.5 mW) 8 dBm(6.25 mW) 5 dBm(3.13 mW) 2 dBm(1.56 mW)

項目	仕様	
周波数帯および 20 MHz 動作チャネル	<p>A(A 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>B(B 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.720 GHz、12 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>C(C 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>D(D 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>E(E 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) <p>F(F 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャネル <p>G(G 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>H(H 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.150 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>I(I 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル <p>K(K 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.620 GHz、7 チャネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャネル <p>N(N 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>Q(Q 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、11 チャネル <p>R(R 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.660 ~ 5.700 GHz、3 チャネル ● 5.745 ~ 5.805 GHz、4 チャネル <p>S(S 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.472 GHz、13 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、11 チャネル ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>T(T 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.280 ~ 5.320 GHz、3 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル <p>Z(Z 規制ドメイン):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2.412 ~ 2.462 GHz、11 チャネル ● 5.180 ~ 5.320 GHz、8 チャネル ● 5.500 ~ 5.700 GHz、8 チャネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く) ● 5.745 ~ 5.825 GHz、5 チャネル 	
注: お客様の国における使用認可をご確認ください。認可状況および特定の国に対応する規制ドメインを確認するには、 https://www.cisco.com/go/aironet/compliance [英語] を参照してください。		
非オーバーラップチャネルの最大数	2.4 GHz <ul style="list-style-type: none"> ● 802.11b/g: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz:3 ● 802.11n: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz:3 	5 GHz <ul style="list-style-type: none"> ● 802.11a: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz:25 FCC、16 EU ● 802.11n: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz:25 FCC、16 EU ○ 40 MHz:12 FCC、7 EU ● 802.11ac: <ul style="list-style-type: none"> ○ 20 MHz:25 FCC、16 EU ○ 40 MHz:12 FCC、7 EU ○ 80 MHz:6 FCC、3 EU ○ 160 MHz 2 FCC、1 EU
注: 数値は規制ドメインによって異なります。各規制ドメイン別の詳細については、製品マニュアルを参照してください。		

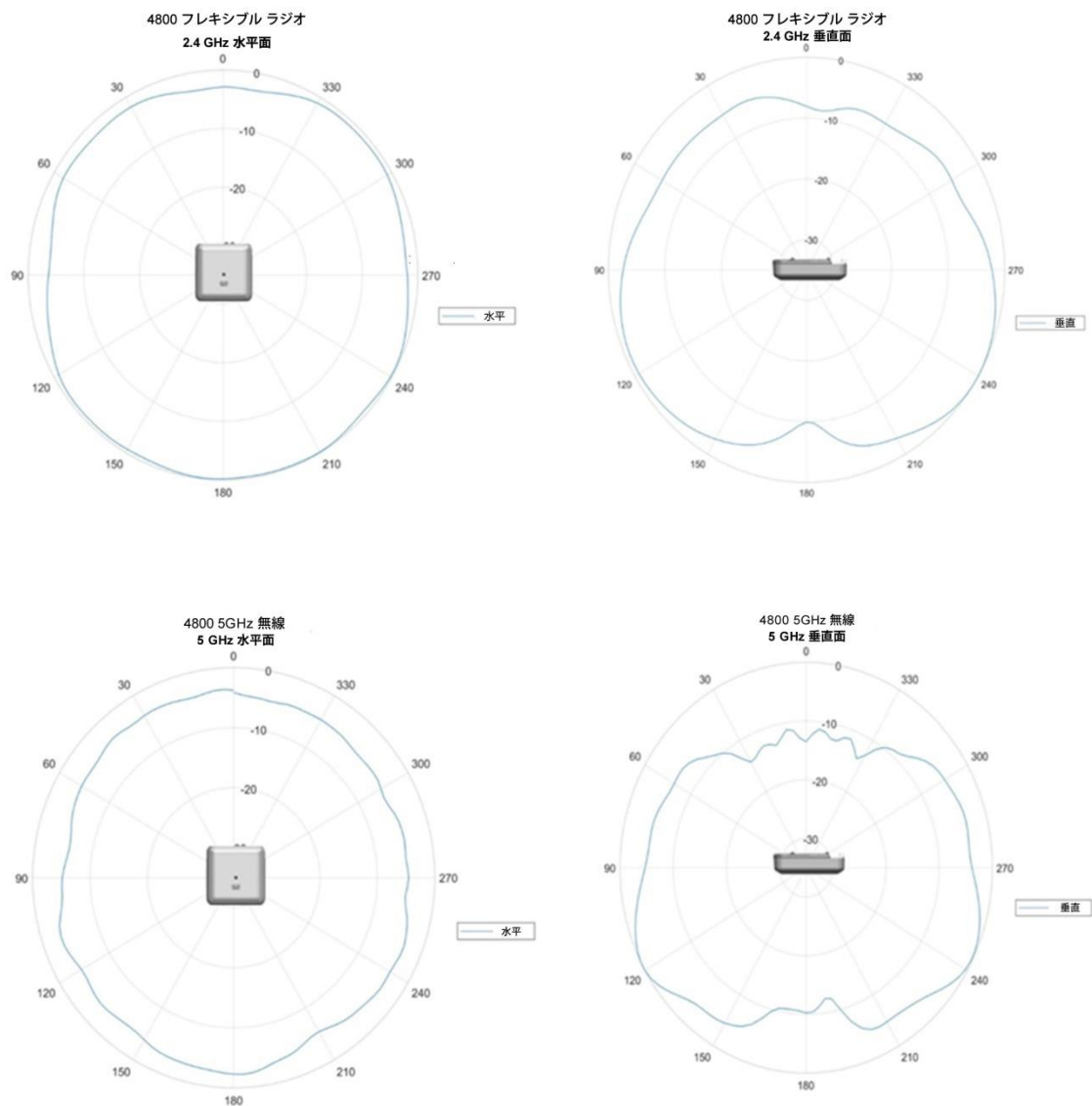
項目	仕様								
適合規格	<ul style="list-style-type: none"> ◦ UL 60950-1 ◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 ◦ UL 2043 ◦ IEC 60950-1 ◦ EN 60950-1 ◦ EN 50155 ● 無線の認可: <ul style="list-style-type: none"> ◦ FCC Part 15.107、15.109、15.247、15.407、14-30 ◦ RSS-247(カナダ) ◦ EN 300.328、EN 301.893(欧州) ◦ ARIB-STD 66(日本) ◦ ARIB-STD T71(日本) ◦ EMI および感受性(クラス B) ◦ ICES-003(カナダ) ◦ VCCI(日本) ◦ EN 301.489-1 および -17(欧州) ◦ Medical 指令(93/42/EEC)に関する EN 60601-1-2 EMC 要件 ● IEEE 標準: <ul style="list-style-type: none"> ◦ IEEE 802.11a/b/g、802.11n、802.11h、802.11d、802.11r、802.11k、802.11v、802.11u、802.11w ◦ IEEE 802.11ac ● セキュリティ: <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i、Wi-Fi Protected Access 2(WPA2)、WPA ◦ 802.1X ◦ Advanced Encryption Standard(AES)、Temporal Key Integrity Protocol(TKIP) ● 拡張認証プロトコル(EAP)の種類: <ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Transport Layer Security(TLS) ◦ EAP-Tunneled TLS(TTLS)または Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol Version 2(MSCHAPv2) ◦ Protected EAP(PEAP)v0 または EAP-MSCHAPv2 ◦ EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling(FAST) ◦ PEAP v1 または EAP-GTC(汎用トークン カード) ◦ EAP-Subscriber Identity Module(SIM) ● マルチメディア <ul style="list-style-type: none"> ◦ WMM ● その他: <ul style="list-style-type: none"> ◦ FCC Bulletin OET-65C ◦ RSS-102 								
保証	制限付きライフタイム、ハードウェア保証								
対応データレート	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11b: 1、2、5.5、および 11 Mbps</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11a/g: 6、9、12、18、24、36、48、および 54 Mbps</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11n HT20: 6.5 ~ 216.7 Mbps(MCS0 ~ MCS23)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11n HT40: 13.5 ~ 450 Mbps(MCS0 ~ MCS23)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11ac VHT20: 6.5 ~ 288.9 Mbps(MCS0 ~ 8 - SS 1、MCS0 ~ 9 - SS 2 および 3)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11ac VHT40: 13.5 ~ 600 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11ac VHT80: 29.3 ~ 1300 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">802.11ac VHT160: 58.5 ~ 2304 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 および 2、MCS0 ~ 8 - SS 3)</td> </tr> </table>	802.11b: 1、2、5.5、および 11 Mbps	802.11a/g: 6、9、12、18、24、36、48、および 54 Mbps	802.11n HT20: 6.5 ~ 216.7 Mbps(MCS0 ~ MCS23)	802.11n HT40: 13.5 ~ 450 Mbps(MCS0 ~ MCS23)	802.11ac VHT20: 6.5 ~ 288.9 Mbps(MCS0 ~ 8 - SS 1、MCS0 ~ 9 - SS 2 および 3)	802.11ac VHT40: 13.5 ~ 600 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)	802.11ac VHT80: 29.3 ~ 1300 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)	802.11ac VHT160: 58.5 ~ 2304 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 および 2、MCS0 ~ 8 - SS 3)
802.11b: 1、2、5.5、および 11 Mbps									
802.11a/g: 6、9、12、18、24、36、48、および 54 Mbps									
802.11n HT20: 6.5 ~ 216.7 Mbps(MCS0 ~ MCS23)									
802.11n HT40: 13.5 ~ 450 Mbps(MCS0 ~ MCS23)									
802.11ac VHT20: 6.5 ~ 288.9 Mbps(MCS0 ~ 8 - SS 1、MCS0 ~ 9 - SS 2 および 3)									
802.11ac VHT40: 13.5 ~ 600 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)									
802.11ac VHT80: 29.3 ~ 1300 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 ~ 3)									
802.11ac VHT160: 58.5 ~ 2304 Mbps(MCS0 ~ 9 - SS 1 および 2、MCS0 ~ 8 - SS 3)									

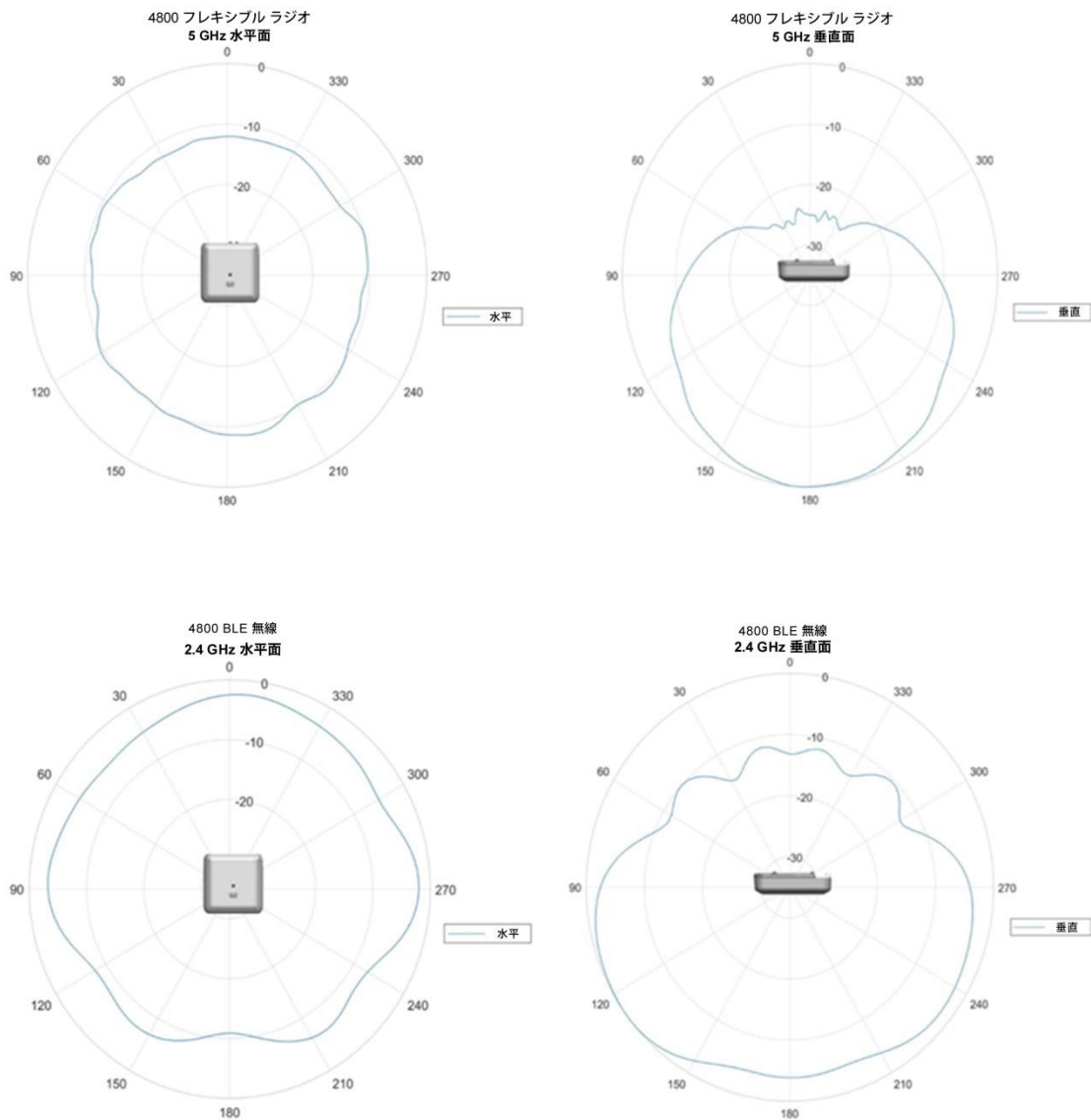
項目		仕様					
送信出力および受信感度							
		5 GHz 無線		2.4 GHz フレキシブル ラジオ		5 GHz フレキシブル ラジオ	
	空間 ストリーム	送信パワー合計 (dBm)	受信感度 (dBm)	送信パワー合計 (dBm)	受信感度 (dBm)	送信パワー合計 (dBm)	受信感度 (dBm)
802.11/11b							
1 Mbps	1	-	-	23	-101	-	-
11 Mbps	1	-	-	23	-88	-	-
802.11a/g							
6 Mbps	1	23	-93	23	-91	23	-92
24 Mbps	1	23	-89	23	-87	23	-89
54 Mbps	1	23	-81	23	-77	22	-80
802.11n HT20							
MCS0	1	23	-93	23	-91	23	-93
MCS4	1	23	-88	23	-86	23	-87
MCS7	1	23	-79	23	-77	22	-78
MCS8	2	23	-93	23	-91	21	-93
MCS12	2	23	-86	23	-85	23	-86
MCS15	2	23	-79	23	-77	21	-78
MCS16	3	23	-93	23	-91	23	-92
MCS20	3	23	-85	23	-84	22	-84
MCS23	3	23	-78	23	-76	18	-77
802.11n HT40							
MCS0	1	23	-90			23	-89
MCS4	1	23	-85			23	-84
MCS7	1	23	-76			23	-75
MCS8	2	23	-90			23	-89
MCS12	2	23	-83			23	-83
MCS15	2	23	-76			21	-76
MCS16	3	23	-90			23	-89
MCS20	3	23	-82			23	-81
MCS23	3	23	-75			20	-74
802.11ac VHT20							
MCS0	1	23	-93			23	-92
MCS4	1	23	-88			23	-87
MCS7	1	23	-82			22	-80
MCS8	1	23	-77			21	-75
MCS0	2	23	-93			23	-91
MCS4	2	23	-86			23	-84
MCS7	2	23	-79			21	-77
MCS8	2	23	-75			20	-73
MCS9	2	-	-			-	-
MCS0	3	23	-93			23	-91
MCS4	3	23	-85			22	-83
MCS7	3	23	-78			20	-76

項目		仕様					
MCS8	3	23	-74			19	-72
MCS9	3	23	-72			18	-70
802.11ac VHT40							
MCS0	1	23	-90			23	-89
MCS4	1	23	-85			23	-84
MCS7	1	23	-78			22	-77
MCS8	1	23	-75			21	-73
MCS9	1	23	-73			20	-72
MCS0	2	23	-90			23	-89
MCS4	2	23	-83			23	-82
MCS7	2	23	-76			21	-75
MCS8	2	23	-73			20	-72
MCS9	2	23	-71			19	-69
MCS0	3	23	-90			23	-89
MCS4	3	23	-82			23	-80
MCS7	3	23	-74			20	-73
MCS8	3	23	-70			19	-68
MCS9	3	23	-69			18	-67
802.11ac VHT80							
MCS0	1	23	-87			23	-86
MCS4	1	23	-83			23	-81
MCS7	1	23	-76			22	-74
MCS8	1	23	-72			21	-70
MCS9	1	23	-69			20	-68
MCS0	2	23	-87			23	-86
MCS4	2	23	-80			23	-79
MCS7	2	23	-73			21	-72
MCS8	2	23	-69			20	-68
MCS9	2	23	-67			19	-66
MCS0	3	23	-87			23	-86
MCS4	3	23	-77			23	-77
MCS7	3	23	-72			20	-70
MCS8	3	23	-67			19	-66
MCS9	3	22	-65			18	-64
802.11ac VHT160							
MCS0	1	23	-83			23	-83
MCS4	1	23	-78			23	-78
MCS7	1	23	-71			22	-71
MCS8	1	23	-67			21	-68
MCS9	1	23	-66			20	-66
MCS0	2	23	-83			23	-83
MCS4	2	23	-76			23	-76
MCS7	2	23	-69			21	-69
MCS8	2	23	-65			20	-66

項目		仕様					
MCS9	2	23	-63			19	-63
MCS0	3	23	-82			23	-83
MCS4	3	23	-74			22	-74
MCS7	3	23	-67			20	-68
MCS8	3	23	-62			19	-62

図 1. Aironet 4800 アクセス ポイント カバレッジ範囲





保証に関する情報

Cisco Aironet 4800 アクセス ポイントには、制限付きライフタイム保証が付属します。この保証は、製品を最初に購入したエンド ユーザーが所有または使用し続ける限り、ハードウェアに対する包括的な保証が継続的に提供されます。この保証には、10 日以内の代替品先行手配が含まれます。また、ソフトウェア メディアについては、90 日間、障害が発生しないことを保証します。詳細については、<https://www.cisco.com/go/warranty> を参照してください。

シスコ サービス

カスタマイズされたインテリジェントなサービスにより、テクノロジーへの投資をより早く回収できます。シスコ サービスは、新しい WLAN インフラストラクチャの技術革新、および関連する WLAN ソリューションを目的とした、アドバイザー、導入、最適化、技術、管理、トレーニング サービスを含む、サービスの包括的なライフサイクルを提供します。比類のないワイヤレス ネットワーキングの専門知識、業界トップクラスのベスト プラクティス、および革新的な自動化ツールとコンテキスト データにより、無線インフラストラクチャ、センサー、ワイヤレス ネットワーク向けソフトウェアの新規導入時に、アップグレード、更新、移行全体のコストを削減できます。シスコ サービスについての[詳細はこちら](#)をご覧ください。

Cisco Capital

目標の達成を支援するファイナンス

Cisco Capital[®]では、目標を達成し、競争力を維持するために必要なテクノロジーの取得を支援します。CapEx の削減をサポートし、成功を加速させ、投資金額と ROI を最適化します。Cisco キャピタル ファイナンス プログラムは、お客様がハードウェア、ソフトウェア、サービス、および補完的なサードパーティ製機器を柔軟に取得できるようにします。また、それらの購入を 1 つにまとめた計画的なお支払い方法をご用意しています。Cisco キャピタルは 100 カ国以上でサービスを利用できます。Cisco キャピタルについての[詳細はこちら](#)をご覧ください。

©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2019 年 1 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先